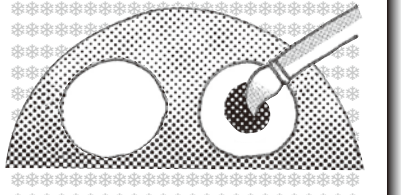


家族で読むページ

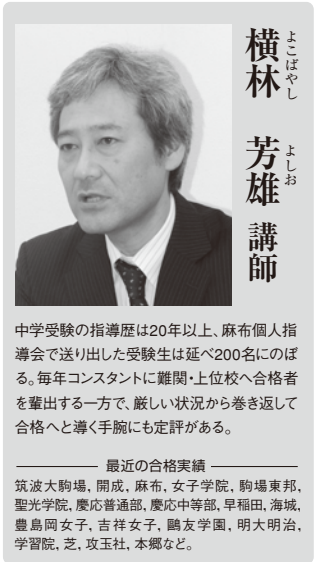


専門家庭教師の眼 2018 ④

合格する過去問の活用法を伝授します！

東京都・神奈川県の中学入試まで残り約3か月となりました。受験生のみならずは追い込みの勉強に熱が入っていることでしょう。そして、志望校の過去問演習が勉強の中心となっていることと思います。

そこで今回の専門家庭教師の眼は、麻布個人指導会の2名の講師に算数と国語の過去問演習のポイントを語ってもらいました。ほんの少しの取り組み方の差が、大きな結果の違いとなります。すぐに役立つベテラン講師の助言を実行して、志望校に合格するための実力を蓄えて下さい。



横林 芳雄 講師
中学受験の指導歴は20年以上。麻布個人指導会で送り出した受験生は延べ200名にのぼる。毎年コンスタントに難関上位校へ合格者を輩出する一方で、厳しい状況から巻き返して合格へと導く手帳にも定評がある。

算数 自分が解けそうな問題を探し、を増やせば合格が見えます

●余白の使い方も重要、実物大の解答用紙が望ましい
過去問演習を始めてから約1か月が経過している頃だと思えます。取り組み方について(やる前)へやっています時(見直し)の3つに分けてお話ししたいと思います。そして、特に重要な見直しについてはお伝えしたいことがたくさんありますので、後ほど詳しく触れます。

事前の準備として、まず問題・解答用紙はコピーして使います。できれば実物大が望ましいです。問題集に直接書き込んでしまうと目やりにくくなります。そして算数の場合は、余白の使い方も重要なポイントで、実際にどれくらい書き込むスペースがあるかを知っておくことは大事です。しかし、どうしても全てコピーするのが難しい場合には、専用のノートを用意

●本番さながらの集中力を持つて臨んでほしい
過去問は正確に時間を計ってやりましょう。練習だから5分短くして、とアドバンスする方もいますが、私は算数ではその必要はないと思っています。陸上競技のようにタイムを短縮するのが目的ではありません。集中的にやってみて、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。

●もう一度〇にできた問題の復習に時間を割く
次に注目してほしいのは、もう一度〇にできた問題です。解いてみた問題で、最後まで読まなくて途中でハットとなる、そんな問題です。ポイントが1つ抜けていただけ、例えば図形の相似や規則性の法則に気づけなかったなどです。こうした大さなミスは、練習で慣れていくことで、本番でも減っていきます。



佐々木 勝 講師
現在も進学塾の講師として教壇に立ちつつ、中学受験専門の家庭教師としても活躍している。大ベテランならではの、論理的かつ独創的な指導技術を存分に発揮し、伸びにくいとされる国語の成績を引き上げている。

国語 過去問をやる大切な意味は、敵を知るため、己を知るため

●肌で感じて、慣れよう
国語の過去問演習は、他の教科とは少し意味合いが違うことをお話ししたいです。間違えた問題の解き直しをして、次は得点できるようにする、これは算数と理社の取り組み方です。ところが、国語は当然ですが、同じ文章でも問題も出まってくるので、なぜやるのか、大きく分けて2つの大切な意味があると思います。それらが、志望校に特化した指導を始めたのですが、ここでの「特化」とは、速さではなく、正確さ、丁寧さ、そして、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。

●敵を知るため、己を知るため
必要だったのかをきちんと確認しておきましょう。たとえ、どこで何分かつたかをメモしておくことが役立ちます。そして、同じ中学校の過去問をやる際には、スピードアップを意識します。例えば、読む速度を少し上げる、選択肢で迷う時間を短くする、記述問題は後回しにするなど、これは受験生一人ひとりのポイントが違ってくるので、集中してやっていると、どこで時間をロスしているかに気づけないうちにもあります。そこを、ご自分のペースで調整して、国語の過去問演習をやる上で、最も大切な意味は、敵を知るため、己を知るためです。



例えば、よくある環境問題について、本文中に筆者が「悲しい」「腹立たしい」など感情を表している部分があります。実はこれが重要なヒントになります。つまり、国語の勉強は、その感情の延長線上にあるのです。したがって、筆者の主張について、記述する場合、まず先ほどの感情表現を口で読むなど、手掛かりをすれば、かなり書きやすくなります。ぜひ試してみてください。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

●国語文は大別すると3種類
自分の志望校はどれでしょう
国語文は、大別すると①児童向け、②中高生向け、③大人向け、とあります。比較的②の文章を使う中学校が多いのですが、慶応3校(普通部・中等部・湘南藤沢)は①です。児童向けの解答が勝負です。早稲に終わらせての見直しは、国語では意味がないと思われています。経験上、考え直しても、逆に迷いが生じてしまふ、あまりないからです。とにかく集中して最初の解答に全てを注いでもらいたいです。制限時間ぴったりで、ちょうど全ての解答が終わる時間配分を目指しましょう。

学生は一切派遣していません

創立32年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

254校にのべ751名の受験生が合格いたしました

2018年度 中学合格実績 (五十音順)

男子	女子
青山学院 3名	聖光学院 3名
浅野 4名	成城 5名
麻布 3名	青山学院 5名
市川 10名	専修大 5名
栄光学園 2名	高松 7名
江戸川 3名	中央大 4名
海城 7名	筑波大 2名
開成 4名	東京都市大 2名
開明 2名	東京農大 8名
学習院 7名	桐朋 6名
鎌倉 3名	東邦大 9名
暁星 4名	獨協 2名
慶応湘南 2名	日大 7名
慶応中等 2名	広尾 2名
慶応普通 2名	法政大 3名
攻玉社 6名	法政 2名
国学院久我山 4名	本郷 3名
駒場東邦 6名	武蔵 2名
栄 17名	明治 3名
サレジオ学院 3名	ラ・サレ 2名
芝 10名	立教池袋 2名
渋谷教育 3名	立教新座 6名
渋谷教育 3名	早稲田 8名
城東 7名	早稲田 2名
城東 7名	早稲田 2名
成瀬 4名	公立一貫 3名
成瀬 4名	他多数合格

(本年度男子受験生の実数は1132名です) (本年度女子受験生の実数は1492名です)

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。

“勝てる”勉強を積み上げて、憧れの志望校に合格しよう！

入会の制約のない体験授業

入会には前提ではありません。また事前に申込書にご記入や、費用をいただいたりすることはありません。

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることが出来ます。

■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。

■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。

■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。

■体験授業といえども実りある指導にするため打ち合わせをします。

■万一の場合には別の講師を人選し、再度体験授業を受けられます。

指導料は完全な後払い

●入会金 20,000円(税別) 一家庭無期限有効

●月額指導料 48,000円～72,000円(税別)

[週1回(各2時間)の授業で月4回の場合]

※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。※指導料の範囲は講師の経験・実績により異なります。

○入会金は体験授業でご納得いただいた後でご請求いたします。

○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。

○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。

○指導開始後も、多くの学校に受験生を送り込んできた当会の教務が受験校のご相談など、さまざまなサポートをさせていただきます。

「成績を伸ばす。志望校に合格させる。」
家庭教師の役割はこれに尽きます。そして当会はこの家庭の要望に、中学受験の専門家庭教師のみを派遣してお届けしています。

これまでの31年間も、そしてこれからも変わることはありません。中学受験の家庭教師は、どうぞ当会にお任せ下さい。

2017年
オリコン日本顧客満足度調査
家庭教師関東第1位

中学受験専門の講師による
1対1個人指導教室を併設

家庭と教室とで指導する講師に違いはありません。全員が中学受験専門の講師です。教室は広い空間を確保し、圧迫感のない対面形式の授業を実現しています。また、授業の前には自習室としての利用も可能です。

当会は朝7:30より業務を行っております。
朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ・ご相談ください。

JR 地下鉄「恵比寿駅」東口徒歩1分

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F